

銭形通信

Vol.17
春号



Activity Report

春本番！待ちに待ったお花見シーズン到来



寒くて長い冬がようやく終わりました。デイサービス和（なごみ）では、待っていましたが言わんばかりにさっそくお花見に出かけました。

今年は1週間を通していろんな場所へ。晴れた日には桜の木の下でホッと一息。お茶を飲みながら日本の風情を楽しみました。

1週間の中では雨が降った日もありました。そんな日はドライブも兼ねて車内から。間近で見られなかった事は残念ですが、雨に打たれて少しずつ散ってゆく桜を眺めるのもまた少し違ったお花見の楽しみ方でしょうか。

短い時間ではありましたが、春の桜を楽しんで頂けたかなと思います。デイサービス和（なごみ）では、今年度も様々な場所への外出を予定しております。京都だけではなく、他府県にも足を延ばし、ご利用者さんにいろんな体験をして頂きたいと思います。



Information

今年度の新組織体制のお知らせ

新年度の人事異動に伴い各事業における組織体制に変更がありましたのでお知らせいたします。

ホームヘルプ事業部

●銭形企画訪問介護事業所【訪問介護・介護予防訪問介護】

管理者	上原 啓輔	介護福祉士・社会福祉主事
サービス提供責任者	今村 裕子	介護福祉士
	笹島真基子	介護職員基礎研修修了
	高橋 弘江（異動）	介護福祉士 認知症ケア専門士
ホームヘルパー	22名（常勤8名 非常勤14名）	



●Let'sゼニガタ【居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・移動支援】

管理者	上原 啓輔	介護福祉士・社会福祉主事
提供責任者 サービス	居宅介護	川端 啓夫 介護福祉士
	重度訪問介護	小浦 彩乃（新任） 介護福祉士
	行動援護	白杉 陽子（再任） 介護福祉士
	移動支援	竹嶋 好枝 介護福祉士
	同行援護	小浦 彩乃 介護福祉士
ホームヘルパー	33名（常勤13名 非常勤20名）	



デイサービス事業部

●デイサービス和（なごみ）【通所介護・介護予防通所介護】



管理者	白杉 優一	介護福祉士
生活相談員	平松 誠	介護福祉士・社会福祉主事
介護職員	2名（常勤1名 非常勤1名）	
看護職員	1名（非常勤）	機能訓練指導員 1名（非常勤）

●デイサービス和（なごみ）【生活介護】

管理者	白杉 優一	介護福祉士
サービス管理責任者	井垣 章子（新任）	介護福祉士
生活支援員	6名（常勤3名 非常勤3名）	
看護職員	1名（非常勤）	機能訓練指導員 1名（非常勤）

苦情窓口責任者・虐待防止責任者

苦情窓口責任者・虐待防止責任者	上原 啓輔	訪問介護・介護予防訪問介護 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・移動支援
	白杉 優一	通所介護・介護予防通所介護・生活介護

法令遵守責任者

法令遵守責任者	白杉 優一	全事業
---------	-------	-----

新しいスタッフのご紹介



Let'sゼニガタ
わきた みきこ
脇田 幹子

一生懸命がんばります。
自分らしさを忘れず、自然体でいけたらいいなあと思っています。これから色々学ばせてください。よろしくお願いします。



デイサービス和
かどの じゅんこ
門野 純子

初めまして。持ち前の明るさで、これから頑張りますので、よろしくお願いいたします。



デイサービス和(なごみ) 今年度中頃の移転に向けて5月着工へ！



今年度、銭形企画では本社及びデイサービス和(なごみ)の移転を計画しています。平成15年に障害者支援費制度の施行に伴う障害福祉サービス事業の開業にあわせて、中京区壬生高樋町から現在の下京区丹波街道町に移転し、今年ではや9年近くが経ちました。

これまで「地域に根ざし、地域に開かれた事業所として歩む」という事業所理念のもと、地域住民の皆様にも愛されるデイサービスを目指して事業を行って参りましたが、建物の老朽化や利用者数の増加に伴う施設機能増強の必要性からこの度移転することといたしました。

施設の移転先は下京区柿本町。当社の訪問系の事務所の向かいとなります。現在、設計段階を終え、5月中の着工を目指しています。新しいデイサービス和(なごみ)に是非ご期待下さい。

ぜにがたまつり in 七夕

今年も“ぜにがたまつり”を開催します。いまの施設でこのイベントが開催できるのもこれが最後。これまで支えて下さった近隣の方々に感謝の気持ちを込めて、例年以上に思い出に残る楽しいまつりにしたいと思います。

皆さまのご来場をスタッフ一同心からお待ちしております。



日時：7月8日(日) AM11:00~PM3:00
ところ：(有)銭形企画 デイサービス和(なごみ)
(下京区丹波街道町298番地)

※ 市バス206系統「島原口」下車 徒歩5分
※ ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

Welcome to なごみ喫茶



日時：5月16日(水)
1:45 ~ 3:00

メニュー：パフェ

コーヒーや紅茶などとセットで¥100です。

皆さんお誘い合わせのうえ是非お立ち寄り下さい。

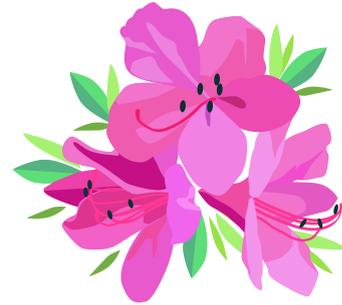
ヘルパーつれづれ日記

寒い冬が終わり、気付けば花の香る穏やかな季節がやってきました。今年度は介護保険制度と障害者自立支援制度の同時改定が行われたこともあり、年初より行政から届く断片的な情報に翻弄され、「無事に春を迎えられるのだろうか・・・。」と悶々とした日々を過ごしてきました。

気負い込んで迎えた新年度。行政への届出書類の作成に忙殺されている間に4月も後残りわずかとなり、ふと我に返ると特に何も変わらない日常が流れていることに気付き少し気抜け状態。これがこの春大半の介護事業者に共通の心境だろうと思います。

今回の介護保険制度改定では、訪問介護における生活援助の短時間化という方向付けがこれまで以上にはっきりと示されたものとなっています。今まで「60分未満」とされてきた時間区分が「45分以上」に見直されたことで、1回当たりのヘルパーの滞在時間が短くなり、實際上、1回に利用できる生活援助サービスの量や内容が減る形となりました。障害者自立支援においても家事援助の時間区分が15分刻みとなったことから、介護保険同様に家事に関するサービスの時間短縮促進という政策的意図がうかがえます。

利用者の在宅生活において欠かすことのできない炊事、掃除、洗濯、買い物などの家事。生活援助については、介護保険発足当初から、身体介護に比べて極端に報酬が低いことや、利用できる援助の内容が極めて限定的であることなど、これまでも常に事業者、利用者双方から物議を醸してきたところです。



それが今回の改定で時間短縮まで迫られることとなり、私たち事業者も落胆の色を隠せないというのが正直なところです。

平成23年版「高齢社会白書」では、高齢者夫婦のみの世帯や高齢者単独の世帯が全世界帯の過半数を超えたと報じています。このうち要介護高齢者の世帯がどの程度あるのかは分かりませんが、少なくとも私たちが生活援助で関わる利用者の多くは、一人暮らしで身の回りのこともままならず、ヘルパーの訪問を心待ちにして下さっているというのが現実です。

これまで生活援助サービスは、利用者の在宅におけるライフスタイルの個別性や多様性の保障という点で少なからず貢献してきたことは間違いないことだと思います。しかし、制度の改定を重ねる度にこのサービスについてはとにかく“切り捨て”の対象とされてしまうことにはいつも残念な思いを抱きます。今回の改定で今まで以上に“時間との闘い”を余儀なくされるこのサービスで本当に利用者の生活における文化性を支えてゆくことができるのだろうかということに私は一抹の不安を感じずにはられません。

(執筆：上原啓輔)

『銭形通信 Vol.17 春号』

発行元：(有) 銭形企画 〒600-8365 京都市下京区丹波口通大宮西入丹波街道町 298 番地
TEL: 075-353-4880 (代) FAX: 075-353-4891 E-mail: mail@zenigata-kikaku.jp
編集：上原 啓輔 (うへはら けいすけ) 高田 暁仁 (たかだ あきひと)

「銭形通信」は、(有) 銭形企画の情報公表の一環としてご利用様ならびに関係機関のみなさまにお渡ししております。